

平成18年7月10日

各位

会社名 株式会社 飯田産業
代表社名 代表取締役社長 森和彦
(コード番号 8880 東証第一部)
問合せ先 取締役 執行役員 経営企画部長
千葉 雄二郎
(TEL. 0422-36-8848)

耐震補強技術の開発完了と販売の開始に関するお知らせ

当社は、この度、新しい耐震補強技術の開発を完了いたしました。つきましては、リフォーム事業の一環として、本耐震補強技術の販売を「耐震“優固”ちゃん」の商品名で平成18年8月から開始いたします。

記

1. 商品名

「耐震“優固”ちゃん」

2. 特徴

(1) 市場背景

中央防災会議資料によると、国土交通省は木造住宅の存在量と耐震化状況に関する推計値(平成15年度)を公表しており、木造戸建住宅は約2,450万戸存在し、このうちの約40%に当たる約1,000万戸で耐震性が不十分とされています。

(2) 既存木造住宅の耐震性能の弱点

既存の木造住宅は、筋かいの絶対的な量が不足している事が挙げられます。さらに、筋かいや柱がしっかり固定されていないと、地震時に簡単に抜けてしまい、その機能を十分に果たさないことも問題視されています。

(3) 既存耐震補強商品との違い(既存耐震補強技術の課題点)

柱や筋かいは、金物による固定(補強)が一般的な方法ですが、既存住宅の様に既に柱や筋かい周辺に仕上げ材を始めとする様々な建材が取り付けいた状態では、金物の固定は非常に困難を伴います。

(4) 当社が開発した耐震補強技術の特長

(3)の課題を解決すべく当社は、現場状況に合わせた変形・加工が容易な柔らかい塊状の素材でありながら、固化した後は自身が非常に硬くなり、木材の柱・筋かい・横架材と強固に接着する新しい補強材「耐震“優固”ちゃん」を開発しました。

これにより、柱・横架材・筋かいが「耐震“優固”ちゃん」を介して一体化され、従来の技術に比べて建物の耐震性および施工性が大幅に向上します。

(5) 性能

公的試験機関の実験結果から算出した結果、短期基準接合耐力 9.7kN の性能を有し、既存の高強度金物であるホールダウン金物 (HD10) とほぼ同等の性能を有することを確認しました。この実験時に、柱脚部が破壊するまで力を加えても、筋かいの抜けは生じない事も確認しています。

(6) 販売計画

平成 18 年 8 月より販売を開始します。
当社リフォームセンターで販売を開始し、年間 100 棟以上の販売を見込みます。

(7) 売上高への影響

売上高増加への影響は、軽微 (10%以内) と見込まれます。

(8) 企業化のために特別に支出する額

特にありません。

(7) 今後の予定

平成 18 年 11 月に(財)日本建築防災協会の『住宅等防災技術評価』を取得予定です。

3. 問い合わせ先

商品企画部 技術研究課
電話番号 0422-36-8848 (代表)

以上